

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②事業者情報

名称：国立障害者リハビリテーションセンター	種別：生活訓練
代表者氏名：森 浩一	定員(利用人数)：30名
所在地：〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1	TEL：04-2995-3100

③評価実施期間

2022年 5月 24日(契約日)～2023年 2月 10日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○復職目標の利用者の8割が実現している

利用開始当初、センターの利用目的を「復職」と位置付けていた利用者の約8割がその目標を達成している。適切なアセスメントの実施、利用者や家族の意向や要望を基にし、目標や目的を分かりやすく標記した自立支援計画の作成、計画に沿った専門性の高い各種の支援の提供、計画の進捗や達成状況を多職種が検証し、必要に応じて見直すモニタリングなど、質の高い支援計画のマネジメントが定着していることがうかがえる。今後は復職後のケアにも力を入れ、長く勤められるよう支援していくことを目指している。

○情報提供の拡充に取り組んでいる

利用希望者や地域への情報提供としては、センターのホームページと3種類のパンフレットなどを用いている。パンフレットは地域を限定せず、全国の関係機関や病院、相談事業所等に配布している。写真やイラストなどを多用し、分かりやすい内容にまとめられている。さらに、高次脳機能障害者の生活訓練などに関する情報発信や、オンラインによる研修会などを通じて、啓発活動なども実施している。また、3年ぶりに開催した文化祭(並木祭)には地域の人々の来場を促したり、地域の福祉施設を招聘したイベントの開催や情報公開の場を設けたりなど、情報提供の拡充に取り組んでいることがうかがえる。

◇特にコメントを要する点

○利用者募集の仕組みなどを再度検証することが望まれる

新型コロナウイルス感染症が流行後3年目を迎え、現在の利用者数は定員の半分程度になっている。また、利用希望者についてもコロナ以前より減少していることが報告されている。人員的にも設備的にも余力があることを踏まえ、感染症対策の充実を図りながら、情報発信の拡充と合わせて利用者募集の仕組みなどを再度検証することが望まれる。

○スキルなど資質の向上を図り、さらに職員の専門性を高めることを目指している

人材育成の制度として「業務評価」や「能力評価」を設けており、年2回の個別面談によって職員個々の意向や要望に沿って目標を設定し、達成度や進捗状況によって評価を受ける仕組みが整っている。また職員研修制度としては、①職場研修(OJT)、②職場外研修、③自己啓発の3本柱として設定しており、新規採用職員などの若手職員や女性職員のキャリアアップなどを設け、できる限り職員全員が研修に参加できるよう工夫している。また、厚生労働科学研究や社会福祉総合推進事業、全国的に開催される各種の研修会等、国が先導する様々な政策に対しての国立施設の責務として協力する立場であることを踏まえ、さらに職員の専門性を高めることを目指している。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、特にコメントを頂きました、「利用者募集の仕組みなどを再度検証する」点につきましては、今後、ナショナルセンターとしての役割を踏まえ、しっかりと情報発信や利用者募集の強化に努めてまいります。

あわせて5項目ありましたB評価の件につきましても、不十分な点を検証しつつ、適宜見直しなどを行い、関係部署とも連携しながらより一層のサービスの向上に努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり